

日本国際政治学会 2009 年度研究大会 共通論題・部会プログラム

11月6日 (金)

受付開始 12:30

6日(金) 午後の部会 13:00~15:30

部会1 国際関係史の新潮流

司会：入江昭（ハーヴァード大学）

報告：潘 亮（筑波大学）

「脅威か友か—1970年代初期のオーストラリアの対日政策に関する一考察」

楠綾子（大阪大学）

「1960年代の日米関係における知的交流」

友次晋介（名古屋大学）

「フォード・カーター両政権期における米国核拡散防止政策の展開—使用済核燃料の再処理を巡る国際関係」

討論 石井修（一橋大学）

部会2 国際経済レジームの正統性に関する考察

司会：山本吉宣（青山学院大学）

報告：大矢根聡（同志社大学）

「正統性をめぐる国際貿易レジームの動態—WTOの「危機」と「法化」の展開」
古城佳子（東京大学）

「国際通貨・金融組織の正統性—IMFを中心として」

段家誠（阪南大学）

「国際開発援助レジームの正統性について—世界銀行とNGOsを事例として」

討論：赤根谷達雄（筑波大学）

部会3 20年後の「1989」：旧ソ連・東欧の政治変容

司会：百瀬宏（津田塾大学）

報告：仙石学（西南学院大学）

「中東欧諸国における福祉枠組みの再編—制度の視点からの「政治変容」の分析」
大串敦（北海道大学）

「統治の形態か、それとも統治の程度か？—ポスト共産主義ロシアの政治変容」

石田信一（跡見学園女子大学）

「クロアチアにおける地方政治の動向」

討論：林忠行（北海道大学）

高橋百合子（神戸大学）

部会4 国際秩序の変動と米国

司会：滝田賢治（中央大学）

報告：白井さゆり（慶應義塾大学）

「世界経済危機とグローバル・マネーの変動—国際経済秩序へのインプリケーション」

佐藤丙午（拓殖大学）

「国際秩序認識と米国の安全保障政策 - オバマ政権の展望」

島村直幸（中央大学）

「アメリカ国内政治の『変革』と国際秩序の変動

—『民主主義のジレンマ』とオバマ政権の内政と外交」

討論：村山裕三（同志社大学）

石田淳（東京大学）

部会5 イスラーム世界と国際政治

司会兼討論：小杉 泰（京都大学）

報告：酒井啓子（東京外国語大学）

「イラン革命が中東域内政治および国際政治に及ぼした影響」

井上あえか（就実大学）

「パキスタン—軍とイスラームの30年」

泉 淳（東京国際大学）

「米国のイスラーム地域政策」

討論：杉田米行（大阪大学）

分科会セッションA（15:45～17:15）別掲

分科会セッションB（17:30～19:30）別掲

11月7日（土）

受付開始 9:00

7日(土) 午前の部会 9:30～12:00

部会6 パックス・アメリカーナと戦後日本の自主外交

司会：渡辺昭夫（東京大学）

報告：鈴木宏尚（慶應義塾大学）

「パックス・アメリカーナと池田政権期の日本外交—日米欧経済関係の文脈」

昇亜美子（政策研究大学院大学）

「パックス・アメリカナの変容と日本の東南アジア外交—1970年代を中心に」

村上友章（立命館大学）

「岸政権期の日本外交—パックス・アメリカナと「外交三原則」

討論：坂元一哉（大阪大学）

村田晃嗣（同志社大学）

コン・ヨンソク（一橋大学）

部会7 軍備管理・軍縮の過去・現在・未来：「核のない世界」をめぐる

司会兼討論：西原正（（財）平和・安全保障研究所）

報告：瀬川高央（北海道大学）

「中距離核戦力交渉と日本 1983～1986年—グローバルな安全保障問題に対する課題設定の可能性と限界」

戸崎洋史（日本国際問題研究所）

「米露軍備管理の秩序維持機能とその制度的脆弱性？」

神谷万丈（防衛大学校）

「拡大抑止再考」

討論：小川伸一（立命館アジア太平洋大学）

部会8 ユーラシア地域大国外交の比較分析：ロシア、中国、インド

司会：木村汎（拓殖大学）

報告：兵藤慎治（防衛研究所）

「多極化外交の新段階—『2020年までのロシア連邦の国家安全保障戦略』の分析を中心に」

渡辺紫乃（日本国際問題研究所）

「中国の対外援助外交—国際開発援助レジームへの挑戦」

伊藤融（防衛大学校）

「大国化するインドの対大国外交」

討論：片原栄一（防衛研究所）

岡部達味（東京都立大学）

部会9 International Security Regime and Internal Regime Security（日韓合同部会）

（大量破壊兵器をめぐる国際安全保障体制と北朝鮮の国内体制護持との関連）

司会：Ryo Oshiba（Hitotsubashi University）

報告：Kun Young Park（Catholic University of Korea）

“Multilateral Security Cooperation in Northeast Asia and the Korean Peninsula”

Hideya Kurata (National Defense Academy of Japan)

“The Six-Party Talks Between Non-Proliferation Regimes and Regional Security Architecture”

討論 : Chi Wook Kim (The Sejong Institute)

Jacques Hymans (University of Southern California)

部会 10 Monetary and Military Networks: A New Pax Americana?

(IRAP Commemorative Panel I: Military Network)

Moderators and Discussants: Takashi Inoguchi (University of Niigata Prefecture)

G. John Ikenberry (Princeton University)

Overview: Takashi Inoguchi and G. John Ikenberry

"Military and Monetary Equations in the Post-American World"

Panelists: T.J. Pempel (University of California, Berkeley)

“Architectures of Security Cooperation in the Asia-Pacific: Toward an Institutional Darwinism”

Sun Xuefeng (Tsinghua University)

“China's Responses to the U.S. Unipolarity in East Asia”

Motoshi Suzuki (Kyoto University)

“Japan’s Foreign Policy Bifurcation: Fragmented Domestic Politics and Specialized International Institutions”

分科会セッション C (13:30–15:10) 別掲

総会 15:10~15:40 メインホール

共通論題 冷戦終結 20 年—パネル・ディスカッション 15:40~18:30 メインホール

コーディネーター : 下斗米伸夫 (法政大学)

パネリスト : 臼杵陽 (日本女子大学)

「ポスト冷戦下の中東における政治変動と民族・宗教紛争」

大津留 (北川) 智恵子 (関西大学)

「アメリカから見たポスト冷戦世界—秩序形成における力と正統性」

岩間陽子 (政策研究大学院大学)

「冷戦終結 20 年—ドイツとヨーロッパの立場から」

国分良成 (慶應義塾大学)

「冷戦後の中国—国際システムと「党国体制」のあいだ」

懇親会 <時間 19:00~20:30>

ポートピアホテル 大輪田の間 (南館 1F)

11月8日 (日)

受付開始 9:00

8日(日) 午前の部会 9:30~12:00

**部会 11 Monetary and Military Networks: A New Pax Americana?
(IRAP Commemorative Panel II: Monetary Network)**

Moderators and Discussants: Takashi Inoguchi (University of Niigata Prefecture)

SOEYA Yoshihide (Keio University)

Panelists: Daniel Drezner (Tufts University)

“Does Currency Follow the Flag?”

Chung-In Moon (Yonsei University)

“Rethinking Alliance and the Economy: American Hegemony, Path
Dependence, and the South Korean Political Economy”

Masayuki Tadokoro (Keio University)

“The US Hegemony and Roles of the Dollar in a Historical Context”

分科会セッション D (9:30~11:00) 別掲

分科会セッション E (11:15-12:45) 別掲

8日(日) 午後の部会 14:00~16:30

部会 12 日中関係の過去と現在

司会：毛里和子（早稲田大学）

報告：服部龍二（中央大学）

「田中上奏文」の戦前と戦後

家近亮子（敬愛大学）

「中国における「戦争責任二分論」の系譜—蒋介石・毛沢東・周恩来、日中戦争の「語り方」

安田淳（慶應義塾大学）

「中国軍の近代化と日中関係—海と空の日中安全保障環境」

討論：川島真（東京大学）

唐亮（早稲田大学）

部会 13 中国の政治参加とボトム・アップの政治改革

司会：高原明生（東京大学）

報告：中岡まり（常磐大学）

「中国共産党と人民代表大会選挙一区・県級直接選挙における「非組織的推薦による候補者」の意味」

加茂具樹（慶應義塾大学）

「中国地方政治における政治参加—地方人民代表大会代表の行動の特徴」

小嶋華津子（筑波大学）

「中国における住民自治と政治参加—居住区の公共財の管理権限をめぐる政治」

青山瑠妙（早稲田大学）

「分断化した権威主義体制における中国のメディア—怒江ダム開発をめぐる」

討論：江口伸吾（島根県立大学）

武田康裕（防衛大学校）

部会 14 国際関係と子どもの安全保障 【市民公開講座も兼ねます】

司会：吉川元（上智大学）

報告：松下洋（京都女子大学）

「アルゼンチンのストリート・チルドレン—グローバル化とのかかわりのなかで」

杉木明子（神戸学院大学）

「シエラレオネ内戦と「子ども兵士」の社会統合」

菅英輝（西南女学院大学）

「対イラク経済制裁とイラクの子どもたち—知られざる「大量破壊兵器」

討論：竹中千春（立教大学）

納家政嗣（青山学院大学）

部会 15 国際関係論の新たな様相（自由論題部会）

司会：上村直樹（広島市立大学）

報告：浅香幸枝（南山大学）

「ソフトパワーと平和構築：日本人・日系人組織の構造と機能についての一考察」

森口舞（神戸大学）

「ラサロ・カルデナス政権の国民統合理念—社会主義教育政策を事例に」

関沢洋一（経済産業省）

「日本のF T Aの政治過程の分析—日墨F T A交渉を中心として—」

討論：小池康弘（愛知県立大学）

岡部恭宜（東京大学）

大庭三枝（東京理科大学）

日本国際政治学会 2009 年度研究大会分科会プログラム

◆11月6日(金)

分科会セッションA (15:45~17:15)

A-1 東アジア国際政治史

責任者 家近亮子 (敬愛大学)

テーマ 「台湾問題」をめぐる国際政治

司会 川島真 (東京大学)

報告 井上正也 (神戸大学)

『台湾問題』をめぐる西側協調の模索と挫折—日本政府の対応を中心に—

福田円 (国土舘大学)

「中仏国交樹立 (1964 年) と台湾問題 — 「一つの中国」原則をめぐる葛藤と妥協—

討論 清水麗 (桐蔭横浜大学)

家近亮子

A-2 欧州国際政治史・欧州研究

責任者 森井裕一 (東京大学)

テーマ 欧州安全保障の変容

司会 森井裕一

報告 西田竜也 (ハーバード大学)

「集団防衛同盟としての NATO の起源—同盟理論の観点から—

鶴岡路人 (防衛研究所)

「NATO・EU 協力の新しい課題—棲み分けから協働へ—

上原良子 (フェリス女学院大学)

「フランス外交の変容?—サルコジ外交におけるゴーリスムと大西洋主義の相克—

討論 広瀬佳一 (防衛大学校)

山田文比古 (東京外国語大学)

A-3 東アジア I

責任者 星野昌裕 (南山大学)

テーマ 変革期朝鮮半島の安全保障

司会 星野昌裕 (南山大学)

報告 礪崎敦仁 (慶應義塾大学)

「北朝鮮『先軍』体制の端緒と発展」

奥藪秀樹 (東西大学・韓国)

「再考 盧武鉉時代の米韓同盟」

討論 鐸木昌之 (尚美学園大学)

A-4 国際政治経済 I

責任者 山田敦 (一橋大学)

テーマ 構成主義の研究フロンティア—規範の伝播・浸透

司会 納家政嗣（青山学院大学）

報告 勝間田弘（ブリストル大学）

「規範の「真似採用」——欧米から東南アジアへの規範の伝播——」

高橋若菜（宇都宮大学）

「一般廃棄物管理の国際規範の浸透に関する日韓比較研究—名古屋市と釜山広域市を事例に—」

討論 宮岡勲（大阪大学）

A-5 政策決定 責任者 我部政明（琉球大学）

テーマ オバマ政権の対外政策決定過程

司会 我部政明

報告 信田智人（国際大学）

「米国国家安全保障会議の役割の変遷—対外政策における内閣官房の役割との比較を含めて—」

廣瀬淳子（国立国会図書館）

「外交政策をめぐるオバマ政権と議会 —政権1年目における評価の試み—」

前嶋和弘（文教大学）

「非政府アクターとアメリカ外交 —オバマ政権下の新しい変化に注目して—」

討論 高橋杉雄（防衛研究所）

A-6 国連研究 責任者 星野俊也（大阪大学）

テーマ 国連による非軍事的安全保障の諸方策

司会／討論 星野俊也

報告 本多美樹（早稲田大学）

「紛争解決と国連による「スマート・サンクション」—アフリカ地域への制裁とその解除に焦点をあてて」

藤重博美（名古屋商科大学）

「国連平和活動における国連警察(UNPOL)の現状と課題—「FPU（武装警察隊）」の役割の検討を中心に—」

分科会セッションA・B（15:45～19:30）

A・B-1 安全保障I 責任者 石川卓（防衛大学校）

テーマ 核拡散と核不拡散

司会／討論 石川卓

報告 芝井清久（上智大学）

「核不拡散体制創設をめぐる多国間交渉—欧州と東アジアの核問題の関連性—」

向和歌奈（東京大学）

「核拡散が停滞する要因—内的要因からの説明を中心として—」

一政祐行（日本国際問題研究所）

「核不拡散体制における核共有政策のインプリケーション—冷戦期からポスト9・11における米欧間での議論を中心に—」

討論 梅本哲也（静岡県立大学）

倉科一希（国際教養大学）

分科会セッションB（17:30～19:30）

B-1 欧州国際政治・欧州研究

責任者 森井裕一（東京大学）

テーマ 冷戦期外交の再検討

司会 森井裕一

報告 齋藤嘉臣（金沢大学）

「文化的冷戦の開始と表象の政治学—モスクワの『ブリタンスキー・ソユーズニク』誌、1942-1950年」

鳥潟優子（大阪大学）

「フランスのインドシナ復興援助外交とアジア地域秩序形成」

妹尾哲志（同志社大学）

「ブラントの東方政策と欧州政策」

津崎直人（京都大学）

「ブラントとNPT - NPTによるヨーロッパダタントの形成（1957 - 1969年）」

討論 山田文比古（東京外国語大学）

中村登志哉（長崎県立大学）

B-2 アメリカ政治外交 I

責任者 菅英輝（西南女学院大学）

テーマ 冷戦期と冷戦後のアメリカ外交

司会 高松基之（東洋英和女学院大学）

報告 西住祐亮（中央大学）

「コソヴォ紛争時の新保守主義者と共和党—外交政策における党派対立と党内対立—」

柴山太（関西学院大学）

「アメリカ占領軍にとっての日本の国内冷戦と治安問題 1946-1952」

討論 高松基之

B-3 東アジア II

責任者 星野昌裕（南山大学）

テーマ 理論的アプローチからの東アジア地域研究

司会 泉川泰博（中央大学）

報告 野口和彦（東海大学）

「中国の戦略行動分析と国際政治理論」

湯澤武（日本国際問題研究所）

「コンストラクティビズムと ARF 研究 —ASEAN Way による社会化の限界—」

討論 浅野亮（同志社大学）

B-4 国際政治経済 II

責任者 山田敦（一橋大学）

テーマ FTA/EPAの理論的研究

司会 松本八重子（亜細亜大学）

報告 石黒馨（神戸大学）

「EPA交渉と官僚制多元主義—2レベルゲーム分析」

岡本次郎（アジア経済研究所）

「FTA/EPA 拡散の理論的考察—東アジアをめぐる FTA の特徴とその収束の可能性について—」

討論 菊池努（青山学院大学）

B-5 トランスナショナル I

責任者 鎌田真弓（名古屋商科大学）

テーマ トランスナショナル・アクターとしてのNGO・NPO—国際支援活動における国家への影響力と相互行為—

司会 塩原良和（慶應義塾大学）

報告 多田透（関西大学）

「人道支援活動に関するNGO間調整の役割—アフガニスタン支援のための機関調整体（ACBAR）の形成と機能から—」

市原麻衣子（ジョージワシントン大学）

「民主化支援政策に対する市民社会の影響」

上野友也（日本学術振興会）

「政治的なものの概念—国際赤十字の中立概念と人道支援の政治的機能を中心として—」

討論 吉川元（上智大学）

清水俊弘（日本国際ボランティアセンター）

◆11月7日（土）

分科会セッションC（13:30~15:10）

C-1 日本外交史

責任者 佐藤元英（中央大学）

テーマ 日本外交のアーカイブズ学的研究

司会 黒沢文貴（東京女子大学）

報告 熊本史雄（駒澤大学）

「日本外交史研究と『外務省記録』—『史料学的アプローチ』の提唱—」

高橋和宏（外務省外交史料館）

「外交アーカイブズ」としての外交史料館」

討論 佐藤元英（中央大学）

C-2 アメリカ政治外交 責任者 菅英輝（西南女学院大学）

テーマ Odd Arne Westad, *The Global Cold War* の書評会

司会 佐々木雄太（愛知県立大学）

報告 山本健（名古屋商科大学）

「書評会『グローバル冷戦史』(Odd Arne Westad, *The Global Cold War: Third World Interventions and the Making of Our Times*) 冷戦史、欧州国際関係史研究からの評価」

三須拓也（札幌大学）

「オッド・アルネ・ウェスタッド著『グローバル冷戦史』についてのレビュー—「第三世界介入の歴史としての冷戦」について—」

討論 青野利彦（一橋大学）

益田実（立命館大学）

C-3 ロシア・東欧 責任者 宮崎英隆（東海大学）

テーマ ロシア双頭政権1年の内外政策

司会 岩田賢司（広島大学）

報告 斎藤元秀（杏林大学）

「ロシア双頭政権の対米・対中政策 —「近づく」米露と「遠のく」中露—」

石郷岡健（日本大学）

「メドヴェージェフ大統領とプーチン首相によるタンデム（二人乗り）政権の分析—ロシア・双頭体制の成立過程と今後の見通し—」

野田岳人（群馬大学）

「ロシア政軍関係の変化—コソヴォ危機とチェチェン紛争の衝撃—」

討論 横手慎二（慶応大学）

河東哲夫（東京財団）

坂口賀朗（防衛研究所）

C-4 東南アジア 責任者 高橋正樹（新潟国際情報大学）

テーマ 東南アジアにおける地域主義

司会 高橋正樹

報告 井原伸浩（メルボルン大学）

「インドネシアと東南アジア諸国連合（ASEAN）の設立—制度構築を通じた安心—」

野田康弘（南山大学）

「地域アクターとしてのアジア開発銀行—メコン開発を事例として—」

福田保（国際基督教大学）

「東南アジアにおける国際人身取引に対する地域協力—人民指向の ASEAN 共同体へのインプリケーション—」

討論 白石昌也（早稲田大学）

C-5 アフリカ I

責任者 片岡貞治（早稲田大学）

テーマ EU とアフリカ

司会/討論 片岡貞治

報告 岩野智（早稲田大学）

「EU の対アフリカ開発協力政策 — 緊急・人道援助の調和化に関する一考察 —」

中内政貴（平和・安全保障研究所）

「EU の対アフリカ ESDP—対西バルカン ESDP との比較可能性—」

C-6 理論と方法 I

責任者 鈴木基史（京都大学）

テーマ 国際関係理論と日本外交研究

司会 宮下明聡（東京国際大学）

報告 川崎剛（サイモン・フレージャー大学）

「近代日本外交における非対称的同盟—同盟締結理論への貢献の可能性—」

今野茂充（名古屋商科大学）

「現代リアリズム理論からみた近代日本外交—国際システムの構造変化と国家行動—」

畠山京子（外務省）

「戦後日本外交におけるパワーの追求とリーダーシップ — 現実主義理論の再検証—」

討論 小野直樹（東京都市大学）

C-7 国際統合

責任者 児玉昌己（久留米大学）

テーマ 地域統合と人権—比較検討— アジアと欧州

司会 児玉昌己

報告 岡本至（文京学院大学）

「東アジア共同体と政治体制：理念型としてのヨーロッパ協調」

山本直（北九州市立大学）

「EU 人権保障の法と政治—基本権庁の設置過程に着目して—」

討論 討論者なし（フロアーとの意見交換）

C-8 安全保障 II

責任者 石川卓 (防衛大学校)

テーマ NATO創設 60 周年

司会 石川卓

報告 佐瀬昌盛 (防衛大学校)

「日本における NATO 研究の軌跡と展開」

吉崎知典 (防衛研究所)

「9・11以降のNATO—同盟研究の視点から—」

討論 小林正英 (尚美学園大学)

C-9 国連研究

責任者 星野俊也 (大阪大学)

テーマ 未定

司会 山田哲也 (南山大学)

報告 井上実佳 (津田塾大学)

「対応する責任」における軍事介入と国連平和維持活動—国連憲章第七章下の「市民・
文民の保護」に着目して—」

眞嶋俊造 (北海道大学)

「保護する責任」は現代版正戦論か？」

討論 山田哲也

C-10 平和研究 I

責任者 野崎孝弘

テーマ 子どもの安全保障と生きる権利

司会 松田哲 (京都学園大学)

報告 堀芳枝 (恵泉女学園大学)

「タイ北部のストリートチルドレンと政府・NGO—子どもたちのエンパワーメントと
社会参加をめざして」

森田豊子 (鹿児島大学)

「現代イランの女子教育」

戸田真紀子 (京都女子大学)

「教育を受けられない子どもたち—ケニア共和国北東州ガリッサ県を例として—」

討論 勝間靖 (早稲田大学)

松田哲 (京都学園大学)

C-11 環境

責任者 太田宏 (早稲田大学)

テーマ 環境問題と国際協力

司会 太田宏

報告 宮崎麻美 (日本学術振興会 大阪大学)

「東アジア環境ガヴァナンスにおける「緩やかな制度」形成とその多様性—酸性雨、

淡水、へイズ問題を事例に一」

小田桐確（上智大学）

「環境安全保障と日米同盟」

討論 伊藤丈人（青山学院大学）

蓮井誠一郎（茨城大学）

◆11月8日（日）

分科会セッションD（9:30～11:00）

D-1 理論と方法 II 責任者 鈴木基史（京都大学）

テーマ インフォーマルな国際制度の理論と方法

司会 鈴木基史

報告 藤田泰昌（上智大学）

「重複国際制度群が国家間の信頼・協調に与える影響」

中山裕美（京都大学）

「アフリカにおけるリージョナリゼーションの進展—難民問題を扱う制度的枠組みの変容—」

玉井雅隆（立命館大学）

「OSCEにおける少数民族と紛争予防—少数民族高等弁務官と紛争予防枠組の変容—」

討論 栗崎周平（テキサス AM 大学）

D-2 安全保障 III 責任者 石川卓（防衛大学校）

テーマ 安全保障環境の変化における技術の重要性

司会/討論 鈴木一人（北海道大学）

報告 小太刀由季子（慶應義塾大学）

「高まる衛星防護検討の必要性—日本の宇宙空間における軍事利用の転換に際して」

齊藤孝祐（筑波大学）

「冷戦終焉期の米国における軍事技術開発—脅威の後退と軍事技術の発展」

討論 松村昌廣（桃山学院大学）

D-3 国際交流 I 責任者 牧田東一（桜美林大学）

テーマ 自由論題

司会 牧田東一

報告 譲原瑞枝（青山学院大学）

「EU統合と文化外交—国際文化交流機関の役割」

登石優子（フェリス学院大学）

「市民社会の国際ネットワーク ——環境 NGO の活動と位置付けを事例に」

討論 渡辺愛子（早稲田大学）

金敬黙（中京大学）

分科会セッションD・E（9:30～12:45）

D・E-1 アメリカ政治外交 II 責任者 菅英輝（西南女学院大学）

テーマ 冷戦期と冷戦後のNATOと米国

司会 菅英輝

報告 金子讓（防衛省防衛研究所）

「米国とNATO—冷戦後の米欧安全保障関係」

小野沢透（京都大学）

「アイゼンハワー政権と同盟政策 ——NATO と核兵器をめぐって」

討論 山本武彦（早稲田大学）

D・E-2 ラテンアメリカ I 責任者 内田みどり（和歌山大学）

テーマ ラテンアメリカの外交／ラテンアメリカとの外交

司会 内田みどり

報告 草野大希（埼玉大学）

「アメリカの善隣政策と新しい米州地域秩序—1920～30年代にかけての介入主義から不介入主義への転換過程—」

金ハンセミ（東京大学）

「キューバ危機におけるブラジルの役割に関する研究—アメリカからみたブラジルの独立的外交政策—」

細田晴子（早稲田大学）

「中米に於けるスペインの影響力:対キューバ政策を中心に」

ロメロ=ホシノ・イサミ（東京大学）

「メキシコと中米統合 ——19世紀からプエブラ・パナマ・プランまで—」

討論 小林誠（お茶の水大学）

D・E-3 中東 責任者 松永泰行（東京外国語大学）

司会／討論 池田明史（東洋英和女学院大学）

報告 岩木秀樹（創価大学）

「「ポスト・オスマン・シンドローム」の起源—バルカン戦争の歴史的意味とオスマン帝国の変容—」

田村幸恵（津田塾大学）

「反乱にいたる委任統治パレスチナの独立要求及び社会統合と東アラブの国際過程」

ーイスティクラール派とムスリム青年協会の活動を中心にー

溝渕正季（上智大学）

「イスラエルの政軍関係と低強度紛争ー第二次レバノン戦争（2006年）とガザ侵攻（2008-2009年）を事例としてー」

討論 錦田愛子（早稲田大学）

D・E-4 国際政治経済 III・IV

責任者 山田敦（一橋大学）

テーマ 金融危機の国際政治経済学

司会 山田敦

報告 杉之原真子（東京大学）

「覇権後の世界における国際金融危機と国際協力ーG7からG2への移行？」

岡部恭宜（東京大学）

「通貨金融危機の歴史的起源ー韓国、タイ、メキシコにおける金融システムの経路依存性」

和田洋典（一橋大学）

「金融規制改革をめぐるトランスナショナルな権力関係」

討論 櫻井公人（立教大学）

遠藤誠治（成蹊大学）

D・E-5 若手研究者・院生研究会コーカス

責任者 三牧聖子（東京大学）

テーマ ウェストファリア神話の終焉と21世紀世界秩序像のゆくえ

司会 三牧聖子

報告 大沼保昭（明治大学）

「ウェストファリア体制という神話ー欧州の条約、世界の体制、認識の枠組みー」

鈴木董（東京大学）

「イスラム的世界秩序伝統と近代西欧国家体系」

渡辺浩（東京大学）

「徳川外交体制と明治政府の対外政策」

討論 西崎文子（成蹊大学）

山下範久（立命館大学）

興那覇潤（愛知県立大学）

分科会セッションE（11:15～12:45）

E-1 安全保障 IV

責任者 石川卓（防衛大学校）

テーマ 非伝統的脅威と国際社会

司会／討論 遠藤哲也（拓殖大学）

報告 福海さやか (亜細亜大学)

「非伝統的脅威への対策—ブラン・コロンビアにみる多国間協力の可能性」

山根健至 (立命館大学)

「東南アジアにおける国際人身取引対策—地域協力の現状と課題」

討論 二村久則 (名古屋大学)

E-2 トランスナショナル II

責任者 鎌田真弓 (名古屋商科大学)

テーマ 人の移動

司会 石井由香 (立命館アジア太平洋大学)

報告 松本佐保 (名古屋市立大学)

「大英帝国と米国における白人優位主義ネットワーク—日系移民問題を中心に—」

前田幸男 (国際基督教大学)

「国際社会論再考—パスポート・レジームからみる国際秩序と世界秩序の連動—」

討論 廣部泉 (明治大学)

土佐弘之 (神戸大学)

E-3 平和研究 II

責任者 野崎孝弘

テーマ 闘争/逃走する主体とグローバリゼーション—公共圏の再構築をめざして—

司会 野崎孝弘

報告 宮崎寛 (龍谷大学)

「ハイブリッド『公共圏』—『沖縄』と『在日』の音楽実践がつなぐもの—」

討論 小倉利丸 (富山大学)

宋安鍾 (金沢大学)

大城直樹 (神戸大学)

E-4 ジェンダー

責任者 竹中千春 (立教大学)

テーマ ジェンダーをめぐるローカル・ポリティクスとグローバル・ポリティクス

司会 竹中千春

報告 松本ますみ (敬和学園大学)

「中国のイスラム女性—マドラサのジェンダー・ポリティクス—」

和田賢治 (神戸大学)

「国連安保理決議 1325 における女性の安全保障化—「女性、平和、安全に関するカナダ委員会」を事例に—」

討論 磯崎典世 (学習院大学)

中村唯 (国際協力機構)